

2013年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科					
科目名	建築技術者倫理					
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年前期	
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)/選択科目(建築コース)/選択科目(デザインコース)					
担当者	依田 浩敏(取りまとめ)、河上 嘉人、井原 徹、津田 和明、齋藤 健二、益田 信也					
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築技術者としての使命感と倫理観を身につける(A5) ・包括的な建築教育の領域および特定領域の高度な専門教育の領域を理解できる(B1～B6) 					
日程と内容	4/8 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価の方法 4/15 建築構造分野(1) 4/22 建築構造分野(2) 4/29 建築生産分野(1) 5/13 建築生産分野(2) 5/20 建築環境分野(1) 5/27 建築環境分野(2) 6/3 建築設備分野(1) 6/10 建築設備分野(2) 6/17 建築デザイン分野(1) 6/24 建築デザイン分野(2) 7/1 建築計画分野(1) 7/8 建築計画分野(2) 7/15 これまでの授業の総括、総合演習および解説 7/22 定期試験(90分) 7/29 定期試験の解説					
成績評価基準	定期試験	100%	実技	0%		
	臨時試験	0%	部外評価	0%		
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%		
	課題	0%				
	演習	0%	計	100%		
授業到達目標の達成度	建築技術者としての使命感と倫理観を身につける(A5):ほぼ達成した。 包括的な建築教育の領域および特定領域の高度な専門教育の領域を理解できる(B1～B6):ほぼ達成した。					
反省点	定期試験は担当教員6人がそれぞれ1問を出題し、学生が5問を選択して解答する形式に変更した。問題によって得点率に大きな差がみられた。 定期試験の受験資格を、講義10回以上としたところ、出席率が上昇した。 追試験対象者1名不合格。					
来年度の計画	授業の形式については、今年度を踏襲する予定である。 問題の難易度・採点の均等化を図る予定である。					
授業評価アンケートに対するコメント	各設問に対する評価点が3.1～3.9点、総合評価点が7.6点であり、いずれも全科目の平均点を下回る結果であった。この科目を開講して3年目になるが、まだ不慣れな面があり、全体的な点検・改善を行う必要がある。特に、『あなたはこの授業の予習または復習をしましたか。』との設問が3.1点で低かった。予習復習を実施するような課題を与えることも検討する。					
履修登録者数	41名	定期試験 受験者数	39名	合格者数	33名	合格率 85%